

交渉速報

J R 貨物労組中央本部業務部

2024年3月14日

No.11

2024 J R 総連春闘 妥結!!

ベースアップ

1,500円+基本給の0.1%

(平均1,800円) 実施!!

《申第4号妥結内容》

- ベースアップ 定額 1,500 円+基本給の 0.1%=平均 1,800 円（100 円未満切り上げ）
- 「基準額」「最低額」および「年齢保障給」をベアに準じて改定
- シニア社員は一律 1,800 円を加算
- 契約社員は 2.3%（定期昇給相当分 1.6%+ベア相当分 0.7%）の賃上げ

《申第5号関係》

- 入社 1 年目の社員の年休を 11 日から 15 日とする
- 保存休暇の使用事由の「災害等により家屋に損壊を受けた場合」の対象家屋の範囲を 2 親等まで拡大する
- インフルエンザ予防接種の補助範囲の拡大

～2024 J R 総連春闘交渉 最終報告～

中央本部は第3回交渉以降、断続的に労使協議を行ない、本日18時00分から最終交渉に臨みました。席上会社は、①定期昇給を実施すると共に、ベースアップとして定額1,500円と、2024年7月1日現在（昇給前）の基本給に0.1%（平均300円）を乗じた額（合計平均1,800円）を実施する。②昇給額表に記載されている昇給額については、評価に応じて完全実施していく。③職群別基本給表の「基準額」「最低額」「年齢保障給」について、ベースアップに準じて改定する。④シニア社員及び契約社員の賃金を改定すると回答しました。また、諸要求については、①入社1年目の社員の年次有給休暇を11日から15日とする。②保存休暇の使用事由の「災害等により家屋に損壊を受けた場合」の対象家屋の範囲を2親等まで拡大する。③インフルエンザ予防接種の補助対象者を同居する家族とする回答を示しました。

会社の回答に対して中央本部は、①職場では要員がひっ迫していることから、今後、労使協議で要員の改善をはかること。②老朽化した設備や、女性設備が整っていない環境で、日夜働いている組合員の労働環境を、会社は責任を持って計画的に改善すること。③2月24日に鉄

道人身傷害事故が発生した。安全は人命を守ることとしているが、職場の声を聞き、安全対策を徹底すること。④物流の2024年問題の受け皿としての社会の期待は大きい。指定公共機関としての使命を果たすため、経営の責任において収入計画の達成を確実に進めていくことを確認し、中央本部はこれ以上の前進はないと判断し、妥結することとしました。

中央本部は、2月16日に新賃金および諸要求を申し入れて以降、離職防止策と額によるベアの獲得にこだわり、各級機関における様々な闘いで、組織一体となった闘いをつくり出してきました。その結果、昇給額表に応じた昇給の実施と、「額」と「率」の併用となったものの、ベースアップの定額部分が昨年の700円から1,500円に拡大を実現しました。さらに、組合員からの切実要求である諸要求の前進を勝ち取ることができました。

職場では課題がまだまだ山積しています。今春闘をしっかりと総括し、更なる組織の強化にむけて、各級機関が一丸となって闘いを推し進めて行こうではありませんか！中央本部はその最先頭で闘うことを明らかにして、2024 JR総連春闘交渉の最終報告とします。

以 上